

デザイン科学セミナーのご案内（１）

共催：日本設計工学会（幹事学会）、日本デザイン学会、日本機械学会、芸術工学会、デザイン塾

2025年度「デザイン科学」セミナー

～3つの新理論が、革新的開発力の“体幹”を創り出す！

日時：2026年1月9日（金）13：00-18：00 会場：オンライン（Zoom）

対 象：企画者，デザイナー，設計者，研究者，教育者

日 時：2025年1月9日（金）13：00-18：00

会 場：オンライン（Zoom）

参加費（テキスト代24,640円を含む）：

共催学会員20,000円，非会員30,000円，学生会員18,000円，学生非会員：20,000円

テキスト：『デザイン科学事典』

共 催：日本設計工学会（幹事学会）、日本デザイン学会、日本機械学会、芸術工学会、デザイン塾

W e b：http://www.designjuku.jp

申込先：https://forms.gle/qPstS59nnrBX5PNo8

締 切：2025年12月19日（金）

問合せ：mlabsec@googlegroups.com



デザイン科学セミナーのご案内（２）

開催の趣旨

大事なことは、およそ理論では決まりません。デザインや設計においても然りでしょう。感性が大切です。しかし、プロが第一線で活躍し続けるためには、感性だけでは足りません。なぜなら、プロは様々な対象をこなすため、自分の感性にそぐわないケースも多いのです。また、自分の感性が時代に合わなくなくなると、よりどころがなく、発想の転換が難しくなります。優秀なクリエイターは、皆、自分なりの理論ともいえる“体幹”をひそかに持っています。

これまで、発想法やデザイン思考を学んだものの、未だ、革新的な開発に至らないと実感されておられる方は、いらっしゃいませんか？それも、開発力における理論ともいえる“体幹”の不足が原因です。

本講座では、それらのカギとなる３つの理論を解説します。併せて、それらの理論と感性との使い分けについても学んでいきます。それにより、創造的行為の本質を理解し、革新的開発力の“体幹”を身につけていただくことを狙いとしています。

講座の内容

本講座では、デザイン科学の基盤をなす以下の３つの理論と応用についてわかりやすく紹介します。

１）AGE（エイジ）思考モデル

～人はなぜ、デザイン・設計できるのか？

人はいかにしてデザイン・設計しているのか。これは、デザイン科学の長年の難問でした。

しかし、近年、漸く、３つの思考を駆使して、創造していることが分かってきました。

本講義では、その創造の基本メカニズムをお話しします。

２）多空間デザインモデル

～すべてのデザイン・設計に共通する思考と応用法

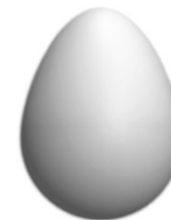
上記創造の基本メカニズムに基づいたデザイン・設計における思考モデルを紹介します。また、このモデルを用いることで可能となる、具体的な創造的開発への応用法についても、その適用事例とともに紹介します。

３）デザイン二元論

～革新的で、完成度の高いモノ・コトづくりのために

デザイン・設計過程には、二つの過程が存在します。上流過程では「創めるマインド」のもと、革新性を生み出します。一方、下流過程では「極めるマインド」のもと、完成度を極めます。

本講義では、その両過程を行う上での「コツ」をお話ししていきます。



講師陣



松岡由幸
(慶應義塾大学)



宮下朋之
(早稲田大学)



佐藤浩一郎
(千葉大学)



加藤健郎
(慶應義塾大学)



井関大介
(東京造形大学)



平尾章成
(芝浦工業大学)



渡部武夫
(神奈川工科大学)



下村将基
(RICOS)

2025 年度「デザイン科学」セミナー

～3つの新理論が、革新的開発力の“体幹”を創り出す！

1. 開催の趣旨

大事なことは、およそ理論では決まりません。デザインや設計においても然りでしょう。感性が大切です。しかし、プロが第一線で活躍し続けるためには、感性だけでは足りません。なぜなら、プロは様々な対象をこなすため、自分の感性にそぐわないケースも多いのです。また、自分の感性が時代に合わなくなくなると、よりどころがなく、発想の転換が難しくなります。優秀なクリエイターは、皆、自分なりの理論ともいえる“体幹”をひそかに持っています。

これまで、発想法やデザイン思考を学んだものの、未だ、革新的な開発に至らないと実感されておられる方は、いらっしゃいませんか？それも、開発力における理論ともいえる“体幹”の不足が原因です。

本講座では、それらのカギとなる3つの理論を解説します。併せて、それらの理論と感性との使い分けについても学んでいきます。それにより、創造的行為の本質を理解し、革新的開発力の“体幹”を身につけていただくことを狙いとしています。

2. 講座の内容

本講座では、以下に示すようなデザイン科学の基盤をなす3つの理論と応用について、わかりやすく紹介します。

1) AGE (エイジ) 思考モデル

～人はなぜ、デザイン・設計できるのか？

人はいかにしてデザイン・設計しているのか。これは、デザイン科学の長年の難問でした。しかし、近年、漸く、3つの思考を駆使して、創造していることが分かってきました。本講義では、その創造の基本メカニズムをお話しします。

2) 多空間デザインモデル

～すべてのデザイン・設計に共通する思考と応用法
上記創造の基本メカニズムに基づいたデザイン・設計における思考モデルを紹介します。また、このモデルを用いることで可能となる、具体的な創造的開発への応用法についても、その適用事例とともに紹介します。

3) デザイン二元論

～革新的で、完成度の高いモノ・コトづくりのために
デザイン・設計過程には、二つの過程が存在します。上流過程では「創めるマインド」のもと、革新性を生み出します。一方、下流過程では「極めるマインド」のもと、完成度を極めます。本講義では、その両過程を行う上での「コツ」をお話ししていきます。

3. 日時：2026年1月9日(金) 13:00-18:00

4. 実施方法：Zoomによるオンライン開催

5. 講師

松岡由幸 (慶應義塾大学)
宮下朋之 (早稲田大学)
加藤健郎 (慶應義塾大学)
佐藤浩一郎 (千葉大学)
井関大介 (東京造形大学)
平尾章成 (芝浦工業大学)
渡部武夫 (神奈川工科大学)
下村将基 (RICOS)

6. 配布する参考書

『デザイン科学事典』,

※上記参考書は、ご指定の住所に送付致します。

7. 参加費 (参考書代を含む)

学会員：20,000 円 (非課税)
非会員：30,000 円 (税込)
学生会員：18,000 円 (非課税)
学生非会員：20,000 円 (税込)
※対象学会：共催の全学会

8. 申込先 (締切：2025年12月19日(金))

<https://forms.gle/qPstS59nnrBX5PNo8>



9. 問合せ先：デザイン塾事務局

E-mail: mlabsec@googlelegroups.com